

鶏 鳴  
けいめい〒221-0864  
横浜市神奈川区菅田町2851  
(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『人にしてもらいたいと思うことは  
何でも、あなたがたも人にしなさい』

聖書(マタイ福音書7章12節)

牧師 河合裕志

この言葉は昔からゴールデン・ルール、黄金律と言われて来たもの。人にしてもらいたいなあ、親切にしてもらいたいなあ、優しい言葉をかけてもらいたいなあ、と思うことは何でも人にしなさいとイエスは言う。

これと一寸似た言葉に「己の欲せざるところを人に施す勿れ」というのがある。孔子の述べた有名な言葉。自分が欲しないこと、いじめられたくない、乱暴されたくない、そう思うならそんなこと人にしてはいけないよ、と言うこと。これはとても大切。

イエスの言葉、文語調で言えば「己の欲するところを人に施せ」という事と孔子のものとは一見似ているけれど矢張り違うかな。孔子の場合には「己の欲せざるところ」は人に対してしないでおけばよい。それ以上のものを求められている訳ではない。これはこれで立派な態度だけれど一寸消極的か。

一方イエスの場合には「己の欲するところ」はこれを人にして行くことが求められる。ジッとして何もしていないということはどうも歓迎されない。積極的ということになるだろうか。

私達日本人の性格からすると孔子の方があっているか。あんまりでしゃばらない。

静かにしている。自分が欲しない、イヤだと思うことはきっと相手もそうに違いないと洞察力を働かせて自分にブレーキをかける。ブレーキ、これは大切なこと。

イエスの教えの場合はでしゃばる感じ。人にしてもらいたい、と思ったことは何でもこっちからして行く。待ちの姿勢ではない。相手の都合、気持ちにおかまいなく、というところがなきにしもあらず。親切の押し売りがあるかも。ただ押し売りはいけないとしてもこちらから進んで善い事をなして行くことは今の世の中、大切なことでは? 身近な例ではアイサツ。妻がアイサツして来たらアイサツする、こう考えている夫は多いかも。アイサツされれば嬉しいのでそう思ったらこちらから先にアイサツする。学校でも社内でも町内でもこっちから進んで声かけをしたらどうだろう。それは勇気のいること。無視されることが少なくないから。

でも声をかけて行く。相手の存在を認め、相手との接点、つながりを求めて。そうされれば嬉しいんじゃない? 同じ日本人だし、同じ人間だし。また私同様神につくられた人間、イエスの愛する人間なんだから。

人間皆兄弟なんだから。

## 集会案内

主日礼拝	: 毎日曜日午前10時15分
主日夕拝	: 毎日曜日午後6時
子どもの教会	: 毎日曜日午前9時
中高青年会	: 毎日曜日礼拝後
おしゃべり会	: 毎木曜日午前10時
聖書を学ぶ集い	: 第4水曜日午前10時